

鳥栖市の雨水対策

令和5年11月

鳥栖市

はじめに

近年、急激に進む気候変動などの影響により、全国各地で自然災害（大型台風や集中豪雨などによる被害）が頻発し、激甚化しています。

鳥栖市においても、ここ数年、毎年のように豪雨による浸水被害や土砂災害が発生しており、令和3年8月の大雨では、11日から19日までの9日間の総雨量が1031mmの記録的な大雨となりました。

これまで、雨水を下流域へ円滑に流すことを基本とし、河川や水路、道路側溝、雨水幹線の整備などを進めてきましたが、このようなハード整備による対策だけでは十分に対処しきれない状況にあります。

今後、災害が発生した際に被害を最小化するためには、地域住民、事業者、行政などの様々な主体が協働・連携し、総合的な雨水対策を進めていくことが必要です。

鳥栖市では、現在、①水害リスクを認識して水害に「備える」、②市内全域で雨水を一時的に「貯める」、③雨水を下流域に早く安全に「流す」取り組みを進めています。

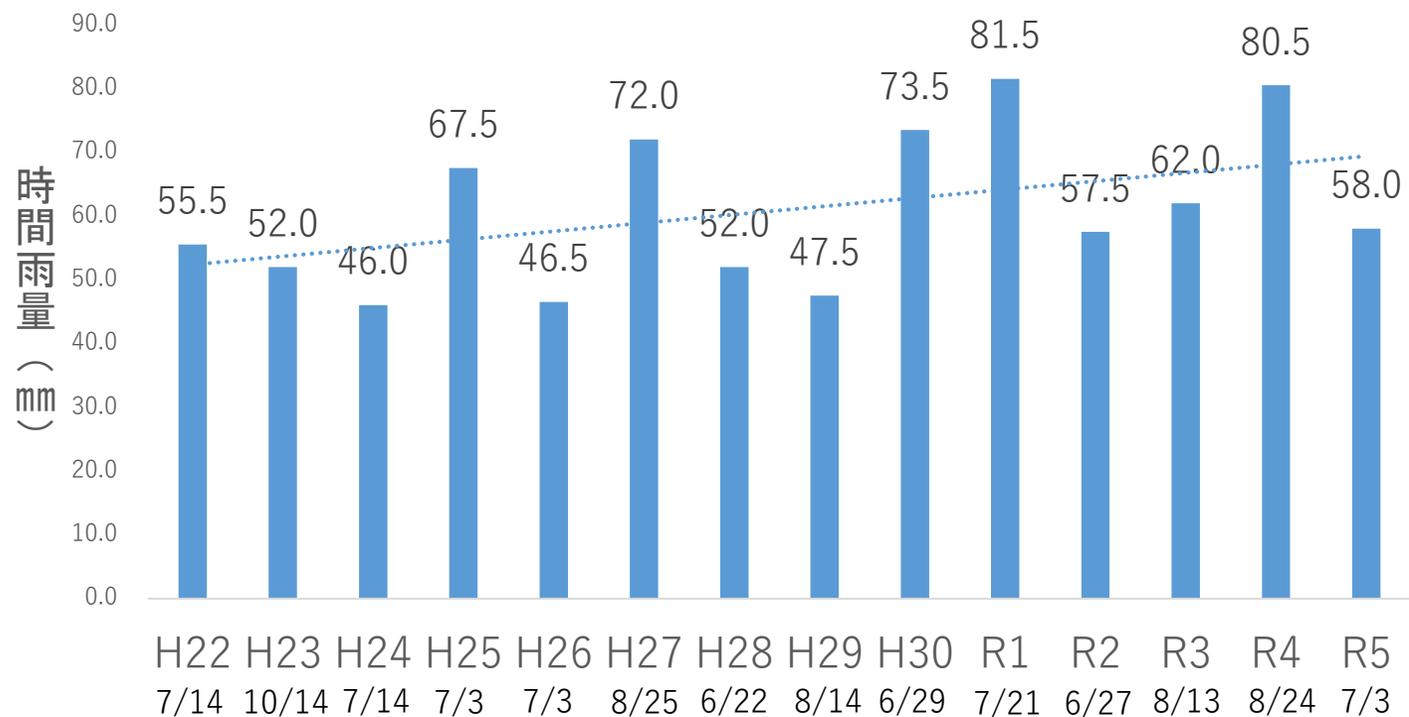
鳥栖市における降雨の変化

■鳥栖市の正時時間雨量※50mm超の年間発生件数

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
年間発生件数(回)	1	0	0	0	0	1	1	0	1	4	2	1	3	3

※正時時間雨量：毎時00分を起点にした雨量

■鳥栖市の年間最大時間雨量※

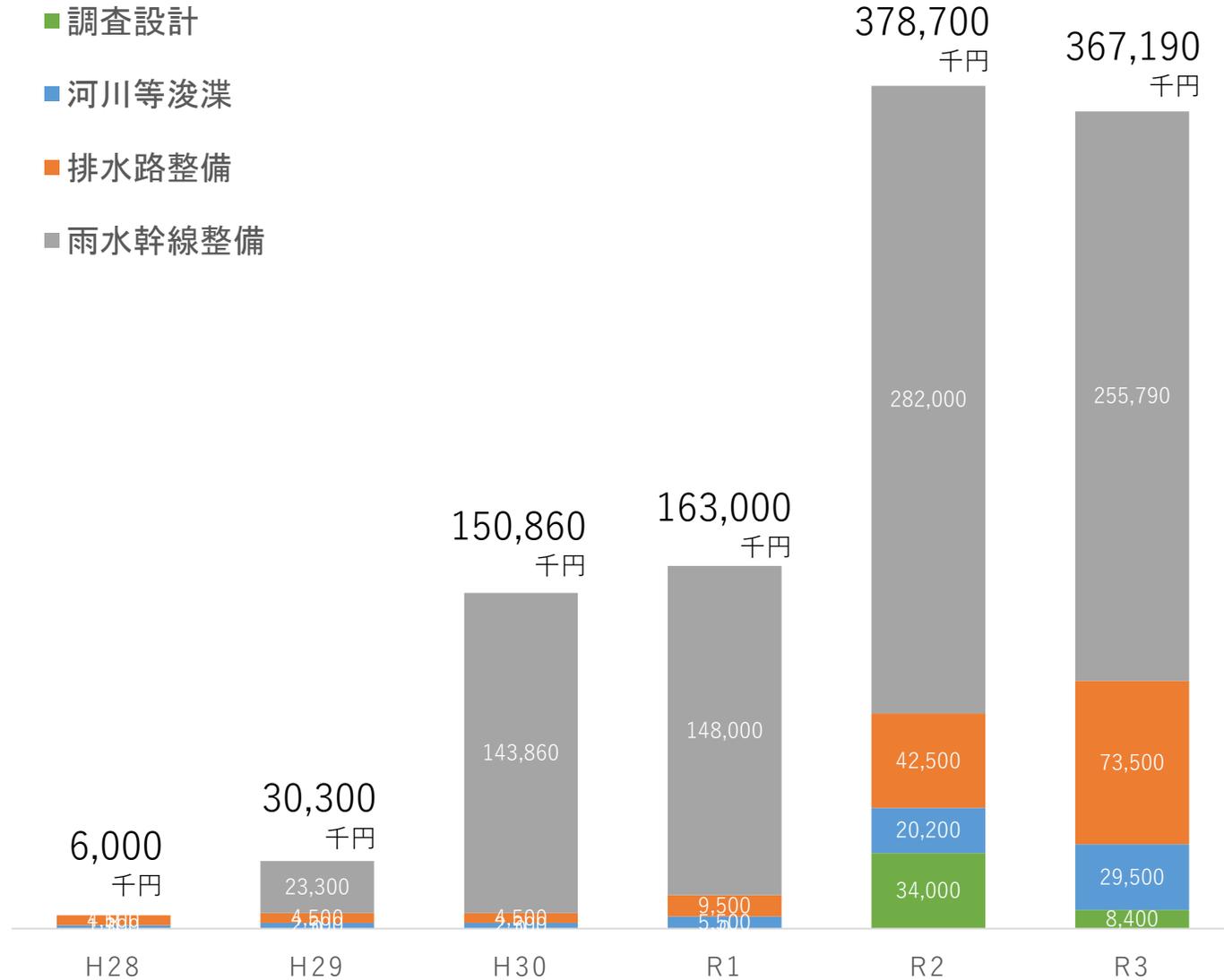


正時時間雨量が50mmを超える短時間強雨の発生回数、年間最大の時間雨量は、ともに増加傾向にあり、水害の更なる頻発化・激甚化が懸念されます。

(資料：気象庁)

※時間雨量：ある時刻から1時間の間に降った雨量

鳥栖市における雨水対策工事関連予算の推移



近年の豪雨災害を受け、鳥栖市では、令和2年度以降、集中的に雨水対策工事を実施しています。

＜主な雨水対策工事＞

- 西田川排水区整備
- 大野川改修
- 河川等の浚渫・補修
- 排水路、側溝の整備

鳥栖市が実施する雨水対策（3つの柱）

水害に

備

える

監視カメラ・浸水計の設置

農業用ため池の保全

自主防災組織設立・活動支援

意識啓発ツール・広報の充実

防災教育・出前講座等

雨水を

貯

める

雨水貯留施設の整備

田んぼダム の普及促進

農業用ため池の事前放流依頼

雨水を

流

す

雨水幹線の整備

河川等の護岸改修

河川等の浚渫・補修

排水ポンプの設置

フラップゲートの設置・改修

排水路・側溝の整備

鳥栖市が実施する雨水対策 一水害に「備える」対策一

備

監視カメラ・浸水計の設置

道路冠水や住宅等の被害が大きい箇所へ監視カメラや水位計を設置し、被害状況の早期把握と迅速な対応に繋がります。

○内水監視カメラ

県設置3箇所、市設置7箇所

○浸水計

県設置22箇所、市設置1箇所



設置している監視カメラ



監視カメラによる道路冠水画像

備

自主防災組織設立・活動支援

自主防災組織の結成及び活動を支援するため、防災用品の購入にかかる費用について助成します。

○自主防災組織数

60町区

(令和5年11月現在)



救出救護訓練の様子



避難訓練の様子

鳥栖市が実施する雨水対策 — 雨水を「貯める」対策 —

貯

雨水貯留施設の整備

ため池の洪水調整機能を強化することにより、大雨時に流水を貯留し、下流域の浸水被害の軽減を図ります。

- 古賀第1、古賀第2ため池
有効貯水量19,400m³（最大） R4 設計業務完了
- 小原池（中央公園）
有効貯水量約4,000m³（最大） R4 放流口改修完了



古賀第1ため池



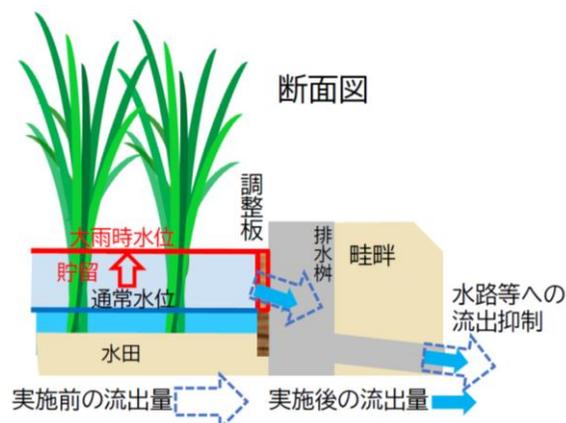
小原池

貯

田んぼダムの普及促進

田んぼの排水口に調整板を設置し、大雨時の流出を抑制することにより、下流域の浸水被害の軽減を図ります。

- 田んぼダム取組面積 約17.6ha
 - ・原古賀町田園環境を守る会
 - ・平田町田園環境を守る会



調整板設置（イメージ）

鳥栖市が実施する雨水対策 — 雨水を「流す」対策 —

流

雨水幹線の整備

西田川上流部の住宅地において、函渠（箱型の水路）を整備することにより、雨水を下流域へ円滑に排水し、周辺住宅地の浸水被害の軽減を図ります。

○西田川排水区雨水整備事業

事業期間H30~R6 整備延長約2.5km



村田町内の道路冠水状況



函渠（ボックスカルバート）整備

流

河川等の護岸改修

河川等の護岸改修（嵩上げ）や逆流防止施設（フラップゲート）を設置することにより、河川等の溢水を防止し、周辺住宅地の浸水被害の軽減を図ります。

○大野川改修工事

- ・護岸改修、フラップゲート設置 R5完了
- ・整備延長 約400m（R2着手進捗率54%）



大野川護岸改修工事



フラップゲート設置（イメージ）

鳥栖市が実施する雨水対策 ー雨水を「流す」対策ー

流

河川等の浚渫・補修

河川等に堆積した土砂の撤去や、流れを阻害している樹木の伐採を行うことにより、水位上昇を軽減し、周辺住宅地の浸水被害の軽減を図ります。

○河川等の浚渫・補修

R3実施：江島川、向原川、重一川

R4実施：江島川、向原川



準用河川江島川（浚渫前）



準用河川江島川（浚渫後）

流

排水路、側溝の整備

老朽化や容量が不足する排水路の整備を行うことにより、雨水を下流域へ円滑に排水し、周辺住宅地の浸水被害の軽減を図ります。

○排水路の整備

R3実施：本通町水路ほか17箇所

R4実施：下野町排水路ほか8箇所



水路合流部の改修



排水路の整備

防災・減災対策の推進



市民の生命・財産の保全
+
災害に対する安全・安心



まちの魅力向上

